

インドネシア・南タンゲラン市における 住民参加型の環境改善推進事業

イベントの延べ
参加者数 600 人

助成活動がメディア
に掲載された回数 4 回

活動の全体目標
に対する達成度 55%



環境リーダーが講師を務める子どもグリーンキャンプ

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 循環型社会形成推進の組織化リーダー育成事業への応募者が多く、10 名募集のところ、30 名を本年度のリーダーとして育成した。自分のできることを広げたい・貢献したいなどの思いを育んだことは、大きな成果である。
- 工夫** 現地では、良くも悪くも政府の影響力が大きい。そこで地方政府との協働を多くし、小さな成果を出す。

課 題

市民の多くは、ゴミを外や川などに投棄することで「処理」している。地域の取組みは、ほとんど行われておらず、一般市民に状況理解と意識の改善が必要である。

活動内容

- ・方策の乏しい市民や行政に、弊会がイニシアチブを取り、協働で環境マルチステークホルダー委員会：MSC を結成した。
- ・南タンゲラン市内の市場・河川・湖沼の実態調査。
- ・MSC 会議と勉強会の実施。
- ・地域環境リーダー育成の実施。
- ・市民向け環境イベントの実施並びに、環境リーダーが講師を務める子どもグリーンキャンプの実施。
- ・環境デーの設定と実施。



活動が新聞記事になりました

今後の課題

- ・循環型社会形成推進リーダーの育成と拡大
- ・環境マルチステークホルダー委員への教育を含めた組織力強化
- ・環境イベント並びにグリーンキャンプを充実・開催
- ・ハザードマップの設置並びに住民教育